

第 13 回スペース・コロニー講演会

日 時：2021 年 11 月 11 日(木) 13:30~15:00(開場 13:15)

主 催：スペースシステム創造研究センター

開催方法：オンライン / 東京理科大学

(お申込みいただいた方には参加用 URL をメールにて送付させていただきます。)

問合せ：東京理科大学 研究推進機構 総合研究院 スペースシステム創造研究センター事務局

TEL：04-7124-1501 (大学代表) (内線 4572) 担当：金井・谷中・大塚

E-mail：rcsc@rs.tus.ac.jp

本講演会では、情報通信研究機構 (NICT) ネットワーク研究所 ワイヤレスネットワーク研究センター長 豊嶋守生氏をお迎えして講演いただきます。現在、Beyond 5G や 6G における情報通信技術のあり方の議論が加速している中で、宇宙通信分野でも衛星通信が高度化・活発化しており、地上と宇宙をシームレスにつなぐ高度な情報通信ネットワークの実現が期待されています。

5G では、高速大容量・超高信頼低遅延・超大量端末という 3 つの特徴がありますが、さらに将来的には空間的なネットワークのグローバルな拡張が必要とされ、非地上系ネットワークと呼ばれる移動体との通信の高度化が重要になると考えられます。本講演では、Beyond 5G/6G 時代における宇宙通信技術の将来像について紹介します。

【プログラム】

13:15ー 入室開始

13:30ー 「B5G/6G 時代における宇宙通信の将来像」

講師：情報通信研究機構 (NICT)

ネットワーク研究所 ワイヤレスネットワーク研究センター長 豊嶋守生氏

14:30ー ディスカッション

【NICT ネットワーク研究所 ワイヤレスネットワーク研究センター長 豊嶋守生氏】

1994 年 4 月、郵政省通信総合研究所 (現、NICT) へ入所。

技術試験衛星 VI 型(ETS-VI)を用いた地上-衛星間の光通信実験に従事。

1999 年 7 月、宇宙開発事業団 (現、宇宙航空研究開発機構(JAXA)) に出向し、光衛星間通信実験衛星 (OICETS)の開発に従事。

2003 年 12 月、通信総合研究所に戻り、OICETS との低軌道衛星-地上間のレーザー通信実験に従事。

2004 年 10 月-2005 年 10 月、ウイーン工科大学客員研究員。

2011 年 4 月-2021 年 3 月、宇宙通信研究室長。

2015 年 6 月、小型光トランスポンダ(SOTA)を用いた世界初の 50kg 級小型衛星-地上間のレーザー通信実験及び量子通信基礎実験を成功裏に実施。

2021 年 4 月-、ネットワーク研究所ワイヤレスネットワーク研究センター長。博士 (工学、東京大学)。

本講演会は動画録画を行いますので、予めご了承ください。

なお、録画した動画およびその画像の利用に際しては、ご参加の皆様個人情報保護に十分配慮いたしますが、差し支えがある場合は、事務局までご連絡ください。

なお、本講演会の録画・録音・撮影、および資料の 2 次利用、詳細内容の SNS への投稿は固くお断りいたします。